



ときがわ銘店探訪①

町田屋旅館



静かな町の片隅にひっそりとたたずむ老舗旅館。100年を超える歴史には時代とともに変わり続けたお客さまの姿があります。堅実に切り盛りする若女将とご主人にお話をうかがいました。

創業107年。かつては社交の中心地

—— ずいぶん歴史のありそうなたたずまいですが、創業はいつごろでしょうか？

若女将 明治43年（1910年）ですから、今年で創業107年になります。

ご主人 1910年というと、日本で初めて飛行機が空を飛んだ（徳川大尉が操縦するアンリ・ファルマン機）年なんですよ。

—— そんな時代から、この場所で、この建物で営業を続けてきたんですね。

ご主人 屋根だけは30年前に葺き替えましたが、ほかはそのままで。

—— 創業当時はどういうお客さんが利用されていたのでしょうか？

若女将 昔は遊び場がなかったの、旦那衆の社交場ですよ。昼間から芸者さんをお酒を飲んで。昼から赤い顔をして玄関を出るわけにはいかないからといわれ、裏にも出入口がありました。今はもう取り壊してしまいました。

ご主人 そのころの写真を見ると、結構賑やかですよ。うちにもたくさん女中さんがいましたから。結婚式場もありますから、うちが式場です。女房（若女将）なんか、学校を早退してきて巫女さんやってましたから。

—— 華やかな、町の中心地だったんですね。

若女将 最近は自転車愛好家の方々がお仲間泊まられて、宴会もしていただくことが多くなってきました。とうふ工房わたなべさんのおいしい豆腐をたくさん仕入れて、豆腐鍋をしたり。年配の自転車趣味の方々は、お金を持っているためか凝り性なんです。乗っている自転車も金額を聞くとびっくり返りそうな。盗まれたら大変なので、息子のログハウスの裏にあるんですけど、そこにしまってもらっています。

ご主人 もう少し自転車道が整備されるといいんですけどね。今でも雰囲気の良い道がかなりあるんですが、途中で切れていたりするんです。たとえばうちの裏の土手道も、東松山の唐子のところがつながってくれたら、自転車で浦和まで行けるんですよ。そういう道がたくさんできたら、うちのお客さんのほとんどが自転車の方になってしまうかもしれません。

—— こちらの名物料理はなんでしょう？

若女将 煮物中心の家庭料理です。メニューとしてはびっくりするようなものは何もないんですが、農作物は新鮮ですよ。野菜は主人が畑で作っているの、収穫してから30分で厨房です。

ご主人 そんな田舎料理でも、お客さんが「おいしい」と喜んでくださるので、最近ではお昼にランチを出すようになりました。まだたくさんは作れないので、数量限定商品なんですけど。

—— これからも歴史と雰囲気のある宿として、続けていってくださいね。本日はどうもありがとうございます。

すか？

「商人宿」が個人客相手の「穴場」に

ご主人 バブルが弾けてから、様子が変わってしまいました。最近のご商売の方が減って、代わりに観光の方が増えています。

若女将 昔は女性客なんてほとんどいらっしやなかったのですが、最近は女性の2人連れ、3人連れがいらしたり。それも、ご予約なしでいきなりです。ときがわ町に観光に来て、気に入ったので泊まっていたい。熊谷とか多摩あたりの人が多いですね。今までは遠くに遊びに行っていたのだけど、年を取って疲れるから近場にしたとおっしゃっています。東京からこんな近くで田舎の風情が味わえるなら、遠くに行く必要はない。

ご主人 なんと海外からのお客さまも見えるようになったんですよ。ハワイからのお客さまは「日本の家庭を見てみたい」とお泊まりになりましたし、ドイツから農業視察で来られた学者のご夫婦は、布団が小さくて困っておられました。夜中に布団部屋から追加の布団を探して運んでいました。朝になって笑ってました。

—— 通常の業務はご夫婦で？

ご主人 大女将は高齢のため動けませんから、おもに若女将が切り盛りしています。私は動めがありませんから、手伝えるのは土日だけです。宴会が入ったりしたときは、近所の方にお手伝いしていただいています。

ご主人 昭和の初めころは、うちでバス路線も営業していたんですよ。フォードのバスを3万円で輸入して、東松山からのバス路線を開設したんです。そのバスは、埼玉県で2台目だという珍しい車でした。結局、戦争でガソリンが手に入らなくなったために、バスは路線ごと東武に譲り渡してしまいました。

若女将 そのころ、三菱財閥の4代目である岩崎小弥太さんが、よくうちに見えていたそうです。うちに猟犬と猟銃を預けてあって、ハンティングに来られたんですね。岩崎弥太郎の甥っ子にあたる人です。大女将がその時代のことをよく知っていますよ。

—— 今はどういう人が利用されているのですか？

ご主人 最近はいわゆる「商人宿」として使っていただいています。地域を巡回してご商売をされる方が定期的にいらっしやいます。たとえば山梨のハンコ屋さんとか。学校に新入生が入ると、大量にゴム印が必要になりますね。その受注に回っておられました。あるいは富山の薬売りで有名な薬屋さん。高齢化のために富山の方はもう一人も来られなくなって、今は奈良の方がいらしています。

若女将 一度、東京12チャンネルの土曜スペシャルでレオナルド熊さんが来てくださったことがあります。商人宿を特集したいということで、薬屋さんが3人、ハンコ屋さんが1人、あとゴルフ場開発の人が数人泊まっていたので、みなさんテレビに出演されました。

—— 今もそういう感じのお客さまばかりなので



若女将とご主人。中央上はフォードのバス。下は岩崎小弥太男爵のハンティングチーム。